

Japanese Conversations

Michelle Penry

Japanese 3050

Dr Kumiko Saito

Tosubun

最近では、子どもはいつもスマホを持っている。子供たちは様々な用事のために電話を使わなければならない。私は子供がスマホを持つことに反対だ。理由は4つある。

まず、子どもはスマホを通じて悪い言葉を学ぶ。多くの子どもはネットで新しい単語を覚え、教師が気付かないところでその単語を使う。新しく覚えた単語が悪い言葉かどうか分かっていないことも多い。覚えた言葉を忘れさせることは難しいため、ネットへのアクセスを子供に対して制限すべきだ。

次に、子供はスマホがないと癩癩をおこすようになる。子供たちの生活はスマホを中心に回っているので、スマホがないと食べたり眠ったりできなくなる。ウェイトレスとしての私の経験から言うと、多くの親は子供にスマホを使わせないようにするが、子供が泣いたりさわいだりするので、結局は子供にスマホを使わせてしまう。

さらに、スマホは想像力の成長をさまたげる。最近の子供は外に出て遊ばないので、外の世界を見てそれを自分のものにする機会があまりない。私が子供の頃は多くの子どもが空想上の友達を持っていたが、最近では空想上の友達がない子供が多い。

最後に、子どもたちは YouTube で年上のインフルエンサーのようにになりたいと考えるようになる。そのため、実際の年齢よりもずっと年上の人の考え方に影響される。例えば、しわに効果があるとされるレチナール配合の製品が年配の女性に人気があるが、若い女の子もそのような製品が必要だと信じるようになる。こうした製品を若いうちから肌につけるのは良くない。多くの子供たちが外出する際に、化粧品店でも善を破壊している。ネットで見たことを真似して商品を破損させるなら、このような店には子供を入れてはいけない。

スマホを使うことは、子どもの適切な発達を妨げるので、子どもにとって悪い影響がある。ですから、子どもたちは携帯電話を持たず、おもちゃで遊んだり、外で過ごす時間を増やしたりすべきだと思う。